

# 理科総合B

(002東書・理B011・新編理科総合B)

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

必要面接時数 **8**

## 1. 学習の到達目標と取り組み

目 標	地球の自然と環境(宇宙)を総合的に捉えることを目標としており、地球という惑星の成り立ちや変動、生命の発生から地質時代を通しての生物の変遷(生物進化)、地球生態系、それに加えて、未来を見据えた人間圏の変遷(社会進化)と自然環境の関わり方等を、観察や実験、実習を通して学習する。
目標に向けての具体的な取り組み	天体の観察や身の回りの自然現象に触れ、自然界のしくみについて、地形や地震、岩石・鉱物標本等の教材対象物を通して興味付けを行い、太陽系で唯一の生命を宿すかけがえのない「水の惑星―地球」を理解する取り組みをする。自然界の探求、調査、そして結果のまとめ方を学び、最終的には研究レポートをまとめて提出できるようにする。

## 2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(編)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	第1編 自然の探求	身近な自然の事物・現象についての観察、実験等を通して、生物とそれを取り巻く自然環境について探求する方法を学ぶ。	第1編 1. 身のまわりの土を調べよう 2. 探求しよう 3. 結果をまとめよう 4. 報告書をまとめよう	No.1	5/23	5/6	第1回 7/1	レポート
5月	第2編 地球という星	太陽系の誕生から、地球の形成、そして他の惑星との比較を通して、地球の自然環境を理解する。	第2編 第1章 太陽系と地球 第2章 惑星の性質 第3章 太陽系の形成 第4章 奇跡の水惑星―地球― 第5章 多重バリアに守られた地球			5/20		
6月	第3編 生物の変遷	原始地球における生命の発生から、地質時代を経ての生物進化と、地球の自然環境の変遷を理解する。	第3編 第1章 海で始まった生命の歴史 第2章 海から陸へ 第3章 現在の生物	No.2	6/20	6/3 6/17	教科書 P.15～P.44	レポート
7月 8月	第4編 遺伝の規則性	生物の共通性と多様性を、遺伝の法則の探求を通して学ぶ。	第4編 第1章 DNAが遺伝子だ 第2章 遺伝のきまり			8/5 8/26		
9月 10月	第5編 地球の変動と景観	地球内部のエネルギーが地殻変動となって、地表を造り替え、又太陽エネルギーが姿形を変えて作用することで、地表を変化させ、各種の地形を形成し、多様な景観を成すことを理解する。	第5編 第1章 自然景観の多様性 第2章 プレート運動と大地形の形成 第3章 水の作用による地形の形成	No.3	10/10	9/16 10/7	教科書 P.45～P.78	レポート
11月 12月	第6編 大気と水の循環	地球の熱収支と、各種の気象現象を、地球的スケールから身近な日本の天気の移り変わりまでを対象にし、学習する。	第6編 第1章 大気の運動と水の大循環 第2章 日本付近の大気の動きと気象の変化			No.4		
1月 2月	第7編 生物と環境	生態系のしくみを理解し、人間圏と自然環境のバランスの大切さを考える。	第7編 第1章 生物の多様性 第2章 生態系 第3章 生物多様性の保存	No.5	1/30		1/6 1/27	教科書 P.79～P.110
通年	第1編 自然の探求 第8編 課題研究	教科書の、P. 5～P. 14、P. 111～131を参照し、自由研究レポートをまとめて、提出する。レポートNo.6は前のレポートが合格してなくても提出してよい。	自由研究レポートの内容 (1) 野外における地学の対象物や場所の調査 (2) 野外における生物(動・植物)の観察や調査 (3) 博物館等、理科総合Bの内容(地学・生物)に関する展示施設の見学			No.6		

## 3. 評価の観点

評価の観点	観 点 の 内 容
関心・意欲・態度	・自然現象に対して、関心を持ち科学的な見方ができるか。 ・面接授業、学習報告課題に積極的に取り組むか。
思考・判断	・観察の中での疑問点を見出しているか。 ・さまざまな観点から考察を加え論理的に考えることができるか。
観察・実験の技能・表現	・自由研究の実験や観察を通して科学的に探求する方法を習得できたか。 ・自由研究のレポート作成を通して的確に表現する方法が習得できたか。
知識・理解	・基本的な概念や原理およびその法則性を理解できたか。